

社会と向き合うジャーナリズム

大石 裕 (慶應義塾大学)

1. はじめに：「コロナ報道」の難しさ：ニュースバリューは非常に高い。しかし後世に残る映像は何か？
 - ・ 1995年（阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件）、2001年（同時多発テロ）、2011年（東日本大震災：地震・津波・原発）
 - ・ ジャーナリズムの機能は？
 - a. 現場が見えない。
 - b. 科学・専門情報の難しさ（非常事態宣言・PCR検査など）。
 - c. 独自取材の困難さ。
 - d. 批判や反論の困難さ。
2. ジャーナリズムとニュースを見る視点
 - ・ ニュースの物語：開始・展開・収束。善悪（自粛報道、自由と強制：ロックダウン）。
 - ・ ニュースの物語とニュース素材の「編集」、そして価値観。
 - ・ ジャーナリズムの使命と、公平・公正・中立・客観報道。
 - ・ ジャーナリズム・メディアは社会を変えるのか。社会を再生産するのか。
3. 感情の政治とジャーナリズム
 - ・ 問題・争点群の中心に位置する「リスク」。問題争点関連：検察庁人事問題、米国の差別問題など。社会不安・社会不満の高まり。
 - ・ マスメディアとソーシャルメディアの連動による世論の高まり。
 - ・ マスメディア批判を強めるソーシャルメディア。特に問題発言、映像の意図的な誤使用。
 - ・ 無責任なソーシャルメディアに対する根強い不信。
4. 社会と向き合うジャーナリズム
 - ・ プロフェッショナルとしてのジャーナリスト・ジャーナリズム
 - ・ 再生産と＝社会の安定と、変化＝社会の変革、両面を担う存在。